

＜呼吸病態学領域について＞

指導教員：西田 千夏、和泉 弘人

呼吸病態学は、有機・無機粉じん、工業用ナノ材料などの職場に存在する吸入性化学物質により引き起こされる多岐にわたる職業性肺疾患の発生機序や病態生理を解明し、肺疾患の早期発見や労働者の曝露影響を未然に防ぐ方策を確立する領域である。「特論」では、様々な職業性肺疾患の特徴や病態生理の習得と知識の蓄積を目指す。「演習」では、職業性肺疾患における分子生物学的アプローチの手法に関する幅広い基礎知識を実践的に習得し、研究発表や討論能力の基礎的指向性の習得を目指す。「実習」では、職業性肺疾患に関する研究テーマを企画し、具体的な研究の目的、計画、評価手法などを議論し、研究デザインの構築を図る。「論文指導」では、研究テーマにおいて得られた結果の妥当性や信頼性を検証し、問題の分析、調査、論理的思考能力を養うと同時に、論文の独創性・科学的意義を遂行しつつ、結果から導き出された新たな事実を検証し、完成させる。

この科目を通して、自ら科学的に問題を発見し、解決する能力を養成する。

＜産業衛生学専攻博士前期課程への入学を希望される方へ＞

1. 研究テーマについて

呼吸病態学領域では、以下の研究テーマを想定しています。

呼吸病態学研究室（西田千夏教授 和泉弘人准教授）が中心となって指導する研究

- 動物ばく露試験（気管内注入試験、吸入ばく露試験）を用いて新規化学物質の肺障害の解明研究、およびバイオマーカーを検索する基盤的研究
- 培養細胞試験を用いて新規化学物質の肺障害の機序解明やバイオマーカーを検索する基盤的研究
- 新規および未知の化学物質の肺障害性評価・スクリーニングシステムを構築するための開発研究
- 肺障害性をひきおこす新規化学物質の物理化学的特性の解明研究
- 新規化学物質の肺障害を調査するための疫学的研究

2. 受け入れ要件の目安

特になし

問い合わせ先：呼吸病態学 代表メールアドレス
j-pneumo@mbx.med.uoeh-u.ac.jp